

質問・要望	内容
質問	防犯灯のLED化で以前よりも明度が落ちている場合がある。防犯上の観点からLED化によって以前より暗くなるのでは意味がない。市として指導の仕方に改善が必要ではないか。
調査結果	設置器具の選定は、各自治会が状況を勘案し、必要に応じた器具を選定しており、それに対し、1灯あたり1万円を補助している。
質問	風水害の避難所に花堂保育園がなっているが、避難所として適当でないのではないか。
調査結果	風水害時に、豊地区で一番目に開設されるのは、豊公民館であり、状況に応じて、豊小学校、花堂保育園を開設する。万が一浸水した場合は、上の階に避難して、救助を待つことになる。
質問	空き家対策で、当該地区にも所在不明の古い空き家があるが対象となるのか。
回答	制度の対象となるのは近隣住民に危険・迷惑になるなどが対象であり、どの空き家も対象となるわけではない。所在等を調べるのも事業の対象である。
質問	市の借金能力は、どの位か、また市債が過剰ではないか。
回答	市債を減らす取り組みは重要であり、健全財政計画では、平成29年度には臨時財政対策債を除いた市債の残高を1000億円程度に減らす計画となっている。
質問	防犯の目的からカメラ設置を行ってはどうか。
回答	プライバシーの問題などもあり、現在そのような計画はない。商店街などに設置されているところがある。
質問	木田地区の建設事業はどのようなものがあるのか。
回答	西木田地区の浸水対策、放課後児童クラブの拡充などがある。
質問	福井駅周辺開発や空き家対策など進めているが、駅周辺の空洞化は人が集う魅力が乏しいのではないか。
回答	駅周辺の再開発事業などを行っており、県都の顔づくり、賑わい、交流人口の増加を目指している。その推移を見ていきたい。

質問・要望	内容
質問	中央公園の再整備ビジョンは人の集まりか歴史か、その狙いがあいまいではないか。またいつごろ完成予定なのか。
回答	公園としての機能と歴史を感じる機能の両面を併せ持ったものとしたい。また全体の完成は、新幹線が開業する2025年の予定である。
質問	認知症への対策は地元だけでは難しい。市としての対策はどのようなものがあるのか。
調査結果	認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、認知症理解普及促進事業として、認知症サポーター活動支援事業や認知症初期集中支援チーム設置事業、さらに認知症カフェ設置事業などを行い、早期発見や予防、認知症の本人や家族を支える活動を支援している。
質問	狐川や花堂川は油が浮く、色が汚いなど汚染されているのではないかと。市として対策はとっているのか。繊維会社の汚水は下水へ流すべきではないか。
調査結果	月1回市内代表河川の水質検査を行っており、河川環境の把握を行っている。狐川は、環境基準を満たしており、水質は悪化している状況でないと考える。事業所は、水質汚濁防止法に定められた排水に関する規制基準を遵守しなければならず、適切に排水処理を行い、規制基準に適合する排水を河川に放流している。
質問	子ども子育て支援事業計画策定事業の予算が221万円とは少なすぎないか。
回答	事業を行うためではなく、計画をつくるための予算であり、審議会で調査、研究していく。
質問	他自治体とごみの分別に差異があることから、転入者のごみの仕分けが十分でないなどトラブルや混乱を起きている。全国の自治体で統一できないのか。
回答	ごみ焼却施設の能力は全国の自治体でそれぞれ差があることから、仕分けの統一は難しい。また、焼却場の新規建設も大きな財政支出が必要であることなどから難しいのが現状である。
質問	中央卸売市場の改築はどの辺りを行うのか。一般開放に出店する店舗の公募の状況はどうなっているか。
調査結果	北側棟は改修を行わず、一般開放されるのは、南棟である。現在の業者で、マスは、埋まっており、一般公募は、行っていない。

質問・要望	内容
質問	県庁移転後のお堀の跡地の活用など、観光振興は県と一体でやることが重要ではないか。
回答	ご指摘のとおり、県とも協力して観光振興を進めるべきと考える。
質問	ガス料金が約10%値上げだが、LPガスなどにシェアを奪われてしまわないか。
回答	議会でも賛否の意見があったが、オール電化の普及が進む中で、一般家庭の普及が進まない中、苦しい値上げである。ご理解をいただきたい。